



技術の進歩と職業の変化

校長 吉田 亘

ニューヨーク市立大学大学院のキャシー・デビッドソン教授が、「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」と予測して話題になりました。子どもたちの将来が見えにくい時代になっているということです。

高校生は、駅の改札口で改札員が乗客の切符を切っていたことを知らないと思います。現在では、改札口は、ほぼ全てが自動化され、改札員の仕事はなくなってしまいました。

「職人」といわれる仕事にも機械化・情報化の影響による変化が起こっています。酒造りの世界では、コンピュータ技術による酒造りが話題になっています。造り酒屋では、多くの経験と技術を持った「杜氏」という職人集団による生産管理が行われていました。その中で、ある会社が、「杜氏」ではなく、酒造りに関する大量のデータを分析し、「理想的な数値」管理による酒造りを行い高い評価を得ました。職人による酒造りだけでなく、経験がない人でもできる酒造りが可能になったということです。

医学の世界ではダビンチという名をつけた機械があります。それは、アメリカで開発された医療分野の手術支援ロボットで、人間の遠隔操作によって内視鏡による手術を行うものです。これにより米粒に漢字を書くような細かい作業も可能です。このロボットは、さらに開発が進み、安全性や正確性を高度化しています。やがては、名医による「神の手」と言われる外科手術も「機械の手」に変わるかもしれません。



このような技術革新には、コンピュータや電子技術の進歩が最大の影響を与えています。「ビッグデータ」と言われる膨大な情報を系統化し、分類・整理する作業はコンピュータを利用しますが、人間には不可能です。この分野の仕事、会計や簿記などホワイトカラーと言われる仕事はどんどん機械に置き換わっていくことでしょう。しかし、全てのことがコンピュータ技術でできるわけではありません。コンピュータが苦手としているのは、「意味」を考えることです。また、人間の五感を使った情報処理も比較的苦手です。このような分野では、人間の能力が必要とされていきます。

大きく変化する社会と高校での学習はどのように関連してくるのでしょうか。例えば、数学では、多くの公式を暗記して、それを当てはめて解答を出すことよりも、演繹的に考えて、既知の情報から必要な解をどう導き出すかのプロセスを考えることがますます重要です。関数を考えるときは、「変化」をどう捉えるか、確率や統計では、不確実性をどの程度狭められるか。言葉として表現できる数学の力が必要です。このことは、他教科でも同じです。なぜそのようになるかの理由を「言語化」することが求められています。その中で、他の人の考え方を理解し、自分との違いを明確にしながら、協力して課題解決にあたる能力をつけることが、社会の変化に対応する力として必要なことだと思います。田高の学習の中でも、このことを重視して取り組み、将来に社会貢献できる人材の育成につなげていきたいと思っています。

想像すること ～9月1日の防災の日から～

副校長 野村 悟

9月1日は防災の日でした。本校でも大田区嶺町特別出張所の方から講話をいただくとともに大田区が主催しているシェイクアウト訓練に参加しました。防災の際、生徒に常に伝えていることは「想像する」ということです。「想像する」とはとても大切なプロセスと考えています。防災という一つの事象を通じて、自分の内面を見つめることでもあるからです。

人は誰しも弱点を持っています。その弱点を抱えながら日々の時間を過ごしていると言えるでしょう。もちろん、他人にその弱さを見せるか見せないかという表現方法の違いは、人によって差があるのでしょうけれど。私自身もそうです。

その弱い側面の自分と向き合うとは、今の置かれた環境の中で、自分の持ちうる力を尽くすことと解釈できます。つまり、今の目の前のことに専念するというのと読み替えてもいいでしょう。確かに、現代の世の中に生きる私たちは、様々なことを考えなければなりません。それは、学校のことであったり、日々の授業のことであったり、将来の受験のことであったり、友人であったり、家族のことであったり……。

未知なものに対して、人は不安を抱きます。しかしそれは、目の前のことに先心することにより、やがてはそれが自分自身への自信に繋がっていくと考えています。

著名な米国の心理学者C. ロジャーズの弟子E. ジェンドリンは「個人は内面的有機体的な感情や感覚と照合し、言語的行動的に反応させることによりその過程を推進させている」と主張しています。つまり、自分と向き合うこと、そのことがまさに今の自分を変容させ、より望ましい自分へと推進させていくベースとなるのだと思います。

だからこそ、これからの社会を背負っていく若者には、ぜひとも今の自分自身と向き合うということ、つまり「想う」というプロセスを大切にしたいのです。その中でも特に、自分の中の弱い部分と向き合うことを意識する……毎日の日常の中では、なかなかできないことではありますが、防災の日という節目を通じて考えることは可能です。

そして、もう少し付け加えるならば、一人ひとりの弱さを「想い」、認め合い、それぞれが補完しあえるならば、今の世の中はもっと過ごしやすくなるのだと思います。

その過ごしやすい世の中を、生徒たちに委ねたいと考えている自分もいます。防災は一つに事象ですが、それは未来へと繋がっていくものであるという気持ちを込めて9月1日を過ごしました。

9月から始まった2学期もさまざまな教育活動があります。地域のみなさまにもいろいろとご理解、ご協力をいただくことをお願い申し上げます。



田高進路プロジェクト2015 2年「大学出張講義」、1年「しごと」

6月18日(木)6,7校時に第2学年全生徒を対象に、大学の講義を実際に体験する「出張講義」を実施しました。各分野の先生方の講義を聞くことで、大学の授業の様子を知ると同時に、広く一般教養を高めるとも良い機会になりました。

また、7月9日(木)3,4校時に第1学年全生徒対象に、いろいろな職業の方のお話を聞くキャリアガイダンス「しごと」を実施しました。第一線で働く方たちの貴重な体験談などを参考に、自分の将来への展望を拓く足掛かりとなることを期待しています。

「大学出張講義」：講義の概要と講師紹介

- 1「分からないことを増やそう！」 …東京大学総合文化研究科超域文化科学専攻 梶谷 真司先生
- 2「幸せな働き方」 …法政大学大学院坂本光司研究室 滝川 裕美先生・王 玲先生
- 3「心理学基礎」 …慶應義塾大学環境情報学部／総合政策学部 竹之内 博史先生
- 4「システム×デザイン思考で世界をハッピーにしようぜ！」…慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 栗原 志功先生
- 5「これからの自動車技術」 …東京大学大学院情報学環(兼)生産技術研究所 中野 公彦先生
- 6「火山の噴火と環境変化」 …東京大学地震研究所物質科学系研究部門 栗田 敬先生
- 7「蒸散や吸水とは無関係な切り花着色剤の茎や葉柄への浸透」 …東京学芸大学教育学部広域自然科学講座 犀川 政稔先生
- 8「熱い血潮のマグロたち」 …東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター 北川 貴士先生
- 9「海中ロボット」 …東京大学生産技術研究所海洋探査システム連携研究センター 松田 匠未先生
- 10「東大卒デザイナーが語る、文系理系を超えたデザインの本質」 …東京工科大学デザイン学部 伊藤 潤先生

「しごと」：講座内容と講師紹介

- 1「商業のしごと」小売業で働くということ…イオンリテール株式会社 小松 幸代さん
- 2「化粧品のしごと」化粧という仕事に携わって～自分らしさを大切に生きるということ…資生堂お客様センター 宇野 晶子さん
- 3「区役所のしごと」区役所職員の仕事とその魅力…大田区総務部人事課人事係 八田 悠司さん
- 4「都庁のしごと」ライフワークとライスワーク～自分の地域を想う気持ち…総務局行政改革推進部 平松 優太さん
- 5「警察のしごと」本日の講義≧警察24時>テレビドラマ…警視庁
- 6「海外ビジネスのしごと」世界ビトになろう！グローバルな環境で活躍するために必要な能力とは…リエゾン・デートル 酒井 由紀子さん
- 7「生命保険のしごと」保険を考えるとあなたの未来が見えてくる。どんな人生が待っているんだろう？…メットライフ生命 青木 寛一さん
- 8「新聞記者のしごと」記者は走る—ニュースを追い、伝える仕事…読売新聞東京本社 高野 光一郎さん
- 9「研究者のしごと」研究員という仕事と人生…ベネッセ教育総合研究所 樋口 健さん



今後のこと

来る10月29日(木)には1・2年対象の「大学説明会」が開かれます。3年生は9月7日に指定校推薦の第一次応募締切日、9月25日は大学入試センター試験の志願票校内提出締切日でした。一般推薦やAO入試の出願は始まっていますし、就職・公務員試験も続々実施されます。1・2年の比較的時間があがるうちに自分の進路について必要な情報や資料を収集し、じっくり考えていくのが良いのではないのでしょうか。

3年の6月から公務員等の出願が始まり9月からは大学を中心とした進学関係の手続が本格化します。何事も早くから十分な準備をして、具体的な作業に取り掛かったほうが成功する確率は上がります。進路の説明会や講演会など大いに活用して、自分の進む道を決めていってほしいと思います。

生活指導部より ～盛り上がりました！「ぼろにあ祭」！！

生活指導部 吉田 宣浩

9月12日(土)・13日(日)の二日間(一般公開は13日のみ)にわたり、第51回「ぼろにあ祭」が開催されました。「ぼろにあ祭」のトップを飾るのは体育館での第3学年全クラスによる「演劇祭」です。今年の「演劇祭」は、例年にも増して脚本から舞台装飾、衣装、ICTの活用など一段と工夫が進み、どのクラスの演技も見ごたえ十分でした。その中から1・2年生による投票によって3年E組「File:0」が大賞を受賞しました。印象的だったのは、どのクラスも入退場を混乱なく整然と行い、最後の大道具解体の際には、クラスの全員が手を休めることなく最後まで解体作業をきちんと行っていたことです。3年生のある生徒は「この学年でホントによかった！」と興奮した表情で振り返っていて、周囲の生徒も大きくうなずいていました。

体育館ではその後も、ダンス部、ピアノ部、吹奏楽部、箏曲部が日頃の練習の成果を十分発揮していました。ダンス部は今年も各種団体の部門賞を獲得しましたが、夏のコンクールで銀賞に輝いた吹奏楽部も舞台を盛り上げていました。

校内での展示・発表作品も工夫を凝らしたものが多く、例えば学年賞に輝いた1年B組が作成した映像作品などはプロ並みの技術を駆使していて、来場された方々も楽しめたのではないのでしょうか。圧巻は、こちらも学年賞を獲得した2年E組のお化け屋敷。装飾も凝りに凝っていて、いつ行っても長蛇の列でにぎわっていました。その他にも各教室やサブアリーナ、和室、図書館、視聴覚室、CALL教室、音楽室、理科系教室、社会科室などの特別教室、さらには廊下や広場などでも様々な発表がありました。また、校門で入場者を出迎えた1年生の「絆プロジェクト」によるモザイクアートも目を引きました。PTAや財団の皆様も盛り上げに一役買っていました。

こうして「ぼろにあ祭」は大盛況のうちに幕を閉じました。みなさん、お疲れ様でした。以下は「ぼろにあ祭」における表彰団体・表彰者の一覧です。



- ・「演劇祭」大賞 … 3年E組「File:0」
- ・「パネルコンテスト」大賞 … 3年C組「ヤマネコケン」
- ・「クラブ・委員会・有志団体最優秀団体」賞 … ダンス部「We are shiny girls ♡ Performance by D. D. C.」
- ・「1学年最優秀クラス」賞 … 1年B組「MOBIE～バカッコよすぎてカワイイじゃん～」
- ・「2学年最優秀クラス」賞 … 2年E組「Tyranny of Epidemic Red」
- ・「3年演劇祭部門・ステージ効果」賞 … 3年E組「File:0」
- ・「3年演劇祭部門・脚本」賞 … 3年E組「File:0」
- ・「3年演劇祭部門・優秀演技」賞 … 中谷悠希君・池本将君(ともに3年F組「Time Limit」)

1学年より ～初めての『ぼろ祭』から学んだこと

1年E組担任 増田 和明

1年生は、田高で初めての『ぼろにあ祭』を無事に終えることができました。66期生はクラスを超えた共同作品である『モザイクアート壁画』に取り組んだこともあり、さまざまな面で多くの方々にサポートしていただきました。ご協力いただいた保護者の皆様、そして、用務主事・経営企画室の皆様には厚く御礼申し上げます。

さて、1年生はこの『ぼろにあ祭』を通じて多くのことを学びました。その一つは、「たったひとりではできないことも、大勢で力を出し合えば、成し遂げられることがたくさんある」ということです。友達とうまくコミュニケーションができなかったり、リーダーとしてどう振る舞えばよいのか戸惑ったりした生徒もいたことでしょう。しかし今、生徒たちは、意見の違いや本気度の違いなど、さまざまな困難を乗り越えて1つのものを完成させる醍醐味を体験することができました。



学んだことのもう1つは「苦勞しなければ、質の高い達成感は得られない」ということです。HR企画では、夏休み中の生徒の本気度は人によってバラバラでした。集合日時に仲間が集まらずにイライラしたり、練習や作業の目標が見えて来ずにやる気をなくしかけたり、意見が食い違ったり・・・。さまざまなドラマがありました。直前の土・日は、丸々2日間をHR企画の準備に打ち込んだ生徒がいました。そして、大雨の日のあの「空白の1日」には、担任団も冷や汗をかきました。生徒も担任も、本当に苦勞に苦勞を重ねての本番でした。だから



こそ、そこから得られた達成感はかけがえのないものになったのだと思います。

「夏休み前から、あんなに時間をかけて練習や制作に力を入れたのに、2日間が終われば、あっという間の片付けだった・・・」そんな印象を持った人もいたことでしょう。しかし、それでよいのだと思います。1年生は、今、1つの殻を脱ぎ捨てて、『新しい自分』、そして『新しく生まれ変わった集団』を生きています。古い殻を脱ぎ捨てることによって、もっと大きく、もっと強くなっていける。そんな意味ある『ぼろにあ祭』であったように思います。1年生の皆さん、感動をありがとう。



2学年より ～『ぼろ祭』を終えて

2年A組担任 荻原 秀明

2年生は同時進行の2学期前半です。とても濃い時間を使っています。今年の「ぼろにあ祭」は企画満載。どのクラスも全力投球で出展をしました。学年賞は、E組おめでとうございます。修学旅行の準備や、3年生の選択科目に向けた準備も始まっています。部活動によっては、新人戦の参加があり練習にも励んでいます。10月11日は、修学旅行の出発です。怒涛の2学期と言えるかもしれません。

ぼろにあ祭出展

A組：荻日和(おぎのや) 牛井

B組：めん屋 山口 焼うどん

C組：ゲームセンター2CX 縁日

D組：Alice in 2D MAZE 迷路

E組：Tyranny of Epidemic Red お化け屋敷

F組：一獲千金 Paintoon 縁日

修学旅行委員会：総合学習のまとめ 展示



なお、好評だったおぎのやの牛井のレシピ（4人分）は、次の通りです。

◇牛井のタレ 水 200cc、三温糖 20g（または白砂糖）、赤ワイン 25cc、みりん 20cc、醤油 60cc、塩少々
固形スープ 1/2 個（2.6g）、かつおだしの素 小さじ 1/5、こしょう少々、おろしニンニク
少々、おろし生姜少々

◇牛井 玉ねぎ中 2 個、牛肉 200g（バラ）、赤ワイン適宜、紅しょうが適宜

◇作り方 三温糖と水を入れて中火にかけてカラメル作り、鍋を下ろし、赤ワインとみりんでのばす。加熱しながら水を加え、固形スープ、かつおだしの素、醤油、塩、こしょうを加える。ニンニクとショウガは、お好みで入れます。冷ますと美味しくなります。玉ねぎが、柔らかくなったころ、赤ワインに付けた牛肉を入れ煮る。煮すぎると固くなります。冷ますと肉に味がしみわたります。

3学年より

3年A組担任 有馬 聡

ぼろにあ祭が終わりました。3年生は例年通りの演劇祭でした。多くの保護者の皆様にお越しいただきましたので、実際に舞台を御覧になった方もたくさんいらっしゃると思います。それぞれのクラスの個性が発揮されたバラエティーに富む発表で、担任の欲目かも知れませんが、各クラスとも総じて質の高い舞台であったと思います。もちろん、その制作過程においては、おそらく各クラスとも順調には運ばなかったようで、いろいろなことが思い通りにいかなかったり、また意見がぶつかり合ったりと様々な苦労を経験したようです。たとえばA組でも脚本の段階からその内容について様々な意見交換がなされました。担任は、ただ見守るだけでしたが、しかし最後には役者も裏方もクラス一丸となって取り組むことができたので、あのような発表につながったのではないかと考えています。様々な困難を経験することが成長につながります。今までのいくつかの行事は生徒にとってはかけがえのない貴重な経験であり、また良き思い出です。これまでの多様な経験をぜひとも今後に活かしてほしいと願っています。

さて、ぼろ祭が終わり、この16日からは就職試験も解禁され、またAO入試や推薦入試の書類の提出なども本格的に始まり、いよいよ「進路のシーズン」の到来といった感じですが、お子様のご家庭での様子はいかがでしょうか。夏休み中に「計画通りしっかりと勉強できた」という諸君がいる反面、「思い通りには進捗しなかった」という者も少なからずいるようです。一般受験のシーズンまでにはまだ時間がありますが、実力の定着には努力と時間が必要です。「継続は力」と言います。なかなか困難な道であることは我々も十分に承知していますが、しかし担任が生徒に代わって何かをするということはできません。我々大人には生徒一人一人が思い描く理想に一步でも近づけるように手助けをすることしかできません。ご家庭におかれましても、時には優しく、そして時には厳しくお子様を励ましていただければと思います。



総務部より

▼7月16日(木)にめぐろパーシモンホールにて、全校生徒でミュージカル「いのちでんでんこ」(みんなのしるし合同会社)を鑑賞しました。閉演後の座談会では、キャストや脚本家と熱心な質疑応答が行われました。

▼9月1日(月)の始業式後に、大田区嶺町特別出張所の盛島副所長をお招きして、防災講話および大田区が推奨する「命を守る3動作～シェイクアウト訓練」を実施しました。

▼図書委員会では「ぼろにあ祭」で図書館での紹介図書の展示や古本市を行い、2日間で千人を超える皆さんに来館いただきました。

▼夏季休業中に、体験授業と2回の学校見学会を実施しました。のべ2千人を超える中学生や保護者の方に参加いただきました。なお、今後、以下の通り説明会や授業公開を予定しております。ご来校をお待ちしております。

- ・10月4日(日) 旧1学区都立学校合同説明会 於都立大崎高等学校
- ・11月1日(日) 都立学校合同説明会 於都立新宿高等学校
- ・11月17日(火)～21(土) 授業公開週間 於本校
- ・11月21日(土) 学校説明会① 於本校
- ・12月12日(土) 学校説明会② 於本校
- ・1月9日(土) 学校説明会③ 於本校

